

# 滋賀県首都圏情報発信拠点への オール滋賀での取組みについて

「東京で滋賀の魅力を体感できる場所」として、体験型の発信を行い、滋賀への誘引を図れるよう各市町から、旬の素材を持ち寄って、効果的な情報発信を！

## ◇提案1

「市町提案型「ルー方式」のイベント開催やフースの展開を提案します！

## ◇提案2

テーマ別企画展を提案します！

## 「市町提案型 リレー方式」について

各市町が各々の特性を活かしたPR方法(イベント型or展示型)を選択。開催時期や開催内容を調整し、リレー方式で魅力発信のボタンをつなぎます。2年間で1サイクルと捉え、市町間の内容や開催時期のバランスを図ります。

### 体験型イベント

(開催例)

- 4月 A市 滋賀の美味・鮎ずし漬体験
  - 5月 B市 ○○の試食と産直販売
  - 6月 C町 親子ゲームで豪華賞品
  - 7月 D市 職人から学ぶ伝統工芸
  - 8月 E町 初夏の果物もぎ取り体験
- etc

### 近江絵巻展示

(展事例)

- 4月 F市 ○○からのメッセージ展
  - 5月 G市 ○○文化の魅力発見
  - 6月 H町 ○○散策でお宝探し
  - 7月 J市 初夏の○○写真展
  - 8月 K町 極秘のパワースポット展
- etc

## 「テーマ別 企画展」について

自然、歴史、文化、芸術、食、産業、伝統工芸、人物、福祉等からバランスよくテーマを設定し、各市町から参画を募り、充実した特別展を開催。  
(テーマ例)近江の酒蔵めぐり、歴史街道だより、近江牛物語 etc

竜王町では

## 「竜王スキヤキプロジェクト」を展開中！

竜王町内の生産者、企業、関係組織、行政が連携し、近江牛を基軸にまちの特産品や歴史、文化等の地域資源を「スキヤキ」というキーワードで集結し、効果的なPRに繋げる。

【第一次産業の底上げ】

【新規就農者の増加】

【特産品ブランド化】

【道の駅の活用】 ほか



竜王スキヤキ  
プロジェクト

H28.10.2(日)

まるごと竜王産近江牛スキヤキプロジェクトin竜王町産業フェア

●Beefグルメブース



●会場風景

●すき焼き試食ブース



# H28.10.2(日)

## まるごと竜王産近江牛スキヤキプロジェクトin竜王町産業フェア

### ●トークショー「スキヤキサミット」



### ●町長宣言

「近江牛発祥の地」  
「スキヤキを愛する町」



### ●紙芝居「近江牛の歴史」



### ●ミニライブ



H28.11.20(日) 12.3(土)~12.4(日)

# 東京「日本百貨店しょくひんかん ちゃばら」PR

東京都秋葉原駅から徒歩1分の好立地にある「日本百貨店 しょくひんかん」内の滋賀県ブースにて、近江牛すき焼き、近江米、松の司の試食試飲を行い、まちのPRおよびふるさと納税の確保に努めました。



**「まるごとスキヤキ」**  
近江牛にまつわる古い言い伝えや記録が残り、牛肉の消費量は県民平均の約3倍、町内に牧場や精肉店も多い竜王町。「あわび茸」や「甘太ねぎ」など農産物も多彩なことから「町全体を鍋に見立て、すべての特産品を売り込もう」と、すき焼きをキーワードに「まるごと竜王産近江牛スキヤキプロジェクト」を今年度から始めた。

10月に「近江牛発祥の地」「スキヤキを愛する町」を宣言し、ロゴマークも発表。12月には東京都千代田区の「日本百貨店しょくひんかん」で、すべて地元産で作ったすき焼きやおにぎり、日本酒の試食会を開き、大盛況だった。  
町商工観光課の谷村龍之介さん(27)は「すべて好評で、滋賀や竜王町をしっかりとPRできた。町内でも気軽に近江牛などを味わえる店を」と言う。



# H29.3.31(金) ラッピングトラック出発式

●道の駅竜王かがみの里にて、ラッピングトラックの出発式を開催しました。



(株)滋賀運送竜王と、「民間輸送車両ラッピング事業」に係る覚書を締結しました。

●施工中





～「近江牛の歴史」紙芝居(抜粋編)～



1. 江戸時代の終わり頃、竜王に竹中久次という人が、農家に牛を育ててもらい売る仕事をしていました。



2. きれいな水と澄んだ空気、肥えた土で良い牛が育ちました。



3. 明治時代になると外国人が日本に住み、肉を食べたので、久次さんの牛がたくさん売れました。



4. 日本でも牛肉を食べることが許され、久次さんは東京へ2週間をかけて牛を引いていきました。



5. ある日、久次さんは箱根の山で恐ろしい山賊に襲われてしまいました。



6. あっという間に山賊を追い払って助けてくれた旅人がありました。それは清水の次郎長さんでした。



7. しばらくして久次さんは東京で初めての牛鍋のお店を始め、美味しかったので大層、繁盛しました。



8. 関西では、鋤の上に肉をのせ、焼いて醤油や砂糖で味をつけ食べ、「鋤焼き」として広まりました。



9. 久次さんは近江牛を日本中に広めました。竜王では、牛の世話をし大きく育てる「肥育」が今もっか<sup>10</sup>り引き継がれています。